

ほそおじ 生家「臈帯寺」(有漢町)▶



新 高梁人名録

おおもと おさむ
大本 修 氏
(1925~2008)

鋭く振りぬかれたバットから放たれるホームランは野球の醍醐味です。ホームランを生み出すバットの研究と開発で野球界の発展に寄与した大本 修さんは大正14年(1925)岡山県上房郡上有漢村(現高梁市有漢町)に生まれ、芝浦工業大学を卒業後、マサチューセッツ工科大学客員研究員、NASA客員研究員、芝浦工業大学教授、平成3年(1991)からは学長を務めました。

野球をこよなく愛した人物としても知られ、金属バットの開発に取り組み、高校野球などで採用された際には、製品安全協会安全管理委員長として金属バットの安全

基準の認定に関わりました。日本プロ野球機構コミッショナー顧問在任中には木製バット折損事故を防止するために安全基準策定にも尽力しています。木製バットの素材となるアオダモの資源育成を呼び掛けたのも大本氏の発案で、自然を愛する人柄もうかがえます。平成24年(2012)には生前のバット研究を通して野球界の発展に寄与したことを評価され野球界最高の名誉である野球殿堂(特別表彰)入りを果たしています。有漢ス

ポーツパークでは、大阪桐蔭高校などの名門校が練習試合を行うことも多く、球児の元気な声と大本氏が開発した金属バットの快音が秋空のもと今日も聞こえています。



今号の表紙

英断が奇跡を呼んだ
成羽中学校修学旅行

9月20日から2泊3日の行程で成羽中学校の3年生が九州北部地域に修学旅行へ行きました。折しも台風14号が18日に鹿児島県に上陸し九州を縦断し、19日には山口県を通過し日本海へ進み、岡山県内の警報がやっと解除された数時間後、生徒は元気に出発し、計画通りの行程を終えたということです。

コロナ禍の中、我が子をなんとか行かせてやりたいと願った保護者の理解と、前日から学校に詰め、旅行代理店と可能性を追及された教職員の熱意が起した奇跡だと思います。

あとがき

「どうでしょう議会だより」委員長を拝命して2年、副委員長や委員の方々の力をお借りしながら編集に取り組み8号目。どの記事を、どのような言い回しや表現で取り上げれば、市民の方に議会活動に興味を持っていただき、正しく理解して頂けるのか、未だ悩んでいるのが現状です。この委員会にはもう一つ大きな仕事「議会報告会」がありました。コロナ禍を理由にしても、一度の開催もできなかつたことは、申し訳なく思います。次号からは新しい体制で取り組みが始まります。今後とも進化し続ける議会だよりを期待して頂ければ幸いです。
(伊藤泰樹)

12月の定例会スケジュール

12/2	金	本会議 (議案の上程)
8	木	本会議 (一般質問)
9	金	本会議 (一般質問)
12	月	本会議 (一般質問)
13	火	本会議 (議案質疑)
14	水	委員会
15	木	委員会
16	金	委員会
21	水	本会議 (採決)

※12月議会への請願・陳情の締め切りは11月24日(木)までです。
※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

市議会議員が在宅起訴されたことについて

10月7日の報道において、銃刀法違反及び火薬類取締法違反罪で川上修一議員が在宅起訴されていたことが判明いたしました。この事実につきまして、市民の皆様にご心配をおかけしておりますことをお詫び申し上げます。

高梁市議会といたしましては、全議員が法令順守は勿論のこと、高い倫理的義務が課せられていることを改めて自覚して取り組んでまいります。

高梁市議会議長 宮田公人

編集

- 議会広報聴特別委員会
委員長 伊藤泰樹
副委員長 森 和之
委員 石部 誠
委員 石田 芳生
委員 石井 聡美
委員 金尾 恭士
委員 新倉 淳
委員 平松 久幸

